

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度吉川市自立支援協議会
開 催 日 時	平成31年2月18日(月) 午後3時00分から 午後4時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所305会議室
出席委員(者)氏名 (名簿順標記)	(福)吉川市社会福祉協議会 曾我委員 (福)葎の里 互委員 (福)彩凜会 星座委員 埼玉県草加保健所 齊藤委員 埼玉県立越谷特別支援学校 松永委員 吉川市教育委員会 古畑委員 吉川市聴覚障害者協会 田口委員 吉川市手をつなぐ育成会 須田委員 手話サークルさつき会 齊藤委員 しらこぼと会 清水委員 点字サークルてん点 鈴木委員
欠席委員(者)氏名	埼玉県越谷児童相談所草加支所 埼玉県立三郷特別支援学校
担当課職員職氏名	障がい福祉課：加藤課長、砂川係長、薄田主査、久田主任
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	1 開 会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議 事 (1) 平成30年度吉川市自立支援協議会の活動報告について (2) 平成31年度吉川市自立支援協議会部会開催予定について (3) 障がい者虐待について (4) 平成30年度の障がい福祉課の取り組みについて (5) こども発達センターについて 5 その他 6 閉 会 会議は公開とする
非公開の理由 (会議を非公開にし た場合)	
傍 聴 者 の 数	1人
会議資料の名称	資料1-1 平成30年度吉川市自立支援協議会 (相談支援部会) 活動報告 資料1-2 平成30年度吉川市自立支援協議会 (子ども部会) 活動報告 資料1-3 平成30年度吉川市自立支援協議会 (就労部会) 活動報告

	資料1 - 4 平成30年度吉川市自立支援協議会（サービス向上部会）活動報告 資料2 平成31年度吉川市自立支援協議会部会開催予定 資料3 吉川市の障がい者虐待の状況 資料4 平成30年度の取り組みについて 参考資料 障がい者数の推移 参考資料 市の障がい福祉の状況
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	互委員、星座委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
1	開会
2	あいさつ
3	自己紹介
4	議事
1)	<p>平成30年度吉川市自立支援協議会の活動報告 事務局) 相談支援部会について、事例検討と元気回復行動計画(WRAP)について学び、精神疾患を抱えた当事者が退院時に自身の元気回復行動計画を作成し退院してくることもあり、支援者がその計画を共有し継続的に支援する手法を学ぶことができた。ヘルパー不足等が問題となっており来年度は、支援者自身のセルフケアを中心に検討していきたい。</p> <p>子ども部会について、参加機関の社会資源を一覧にし学び、事例検討を通じグレーゾーンや軽度の障がい児へのサービス等がわかりにくい現状を把握した。来年度は、今年度の検討を基盤に支援者側が活用できる資料の検討、作成をしていきたい。</p> <p>就労部会について、情報交換と他市の部会や就労支援の視察を実施した。その中で就職先での障がい者への理解不足が原因で休職や離職が増加している現状を把握し、障がい者雇用への啓発が必要であることを認識した。そのため、来年度、市内企業向け障がい者雇用の啓発パンフレットの作成と企業に対し実習生の受入れ等の促進に取り組みたい。</p> <p>サービス向上部会について、障がい者自身の余暇活動や、事業所と地域のつながり等について意見交換を実施した。その中から障がい者の地域とのつながりを深めるための機会や、緊急時に備えた対応の検討の必要性を認識した。来年度は、さらなる充実を図るため、研究の場として研修会等の実施を検討したい。</p>

(2) 平成31年度吉川市自立支援協議会部会開催予定について
事務局) 資料2のとおり

(3) 障がい者虐待について

事務局) 埼玉県虐待禁止条例が平成30年4月1日から施行。児童、高齢者、障がい者の虐待通報を一元化した。経済的虐待を児童虐待にも適用したり、使用者による虐待を児童や高齢者にも適用するなど法律の範囲を規定も盛り込まれている。

虐待通報窓口(24時間365日)「通報ダイヤル#7171」を整備。

委員) 資料3の3の障害者虐待通報件数表のうち、何らかの対応とはどのようなものか。

事務局) 今年度については、障がい者福祉施設従事者によるものが1件あり、従事者本人から直接話を聞いたり、従業員からも聴取し県に報告した。

平成28年度の通報件数3件で、何らかの対応を行った件数は2件である。残りの1件については、県労働局で対応し、市に報告があったものを計上している。

委員) 被虐待者の障害種別の傾向はあるか。

事務局) 知的障がいが多い。

(4) 平成30年度の障がい福祉課の取り組みについて

資料4に基づき、平成30年度の取り組みについて説明。

(5) こども発達センター

事務局) 資料4に基づき、平成31年度から保健センター2階で児童福祉法に基づく児童発達支援へ切り替えて、発達・療育支援環境の充実に努めている。

委員) 夏休みや冬休みなどの長期の休みはどのようなようになるのか。

事務局) 休みは基本的に土日祝日と年末年始で市役所の開所日と同様である。

委員) 利用対象者はどうか。

事務局) 基本的に民間の施設利用が難しい知的障がいのある児を想定しており、民間の施設利用が適している方はそちらを案内するなど個別に対応していきたい。

5 その他

事務局) 平成31年度障がい福祉課の取り組みについて説明。

6 閉会

以上、会議の内容に相違ない事を証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

署名委員 互 竜輔

署名委員 星座正俊